

12月～ 加西市就職ナビ 2014 で市内企業を紹介



▲詳しくは、市ホームページの「日経就職ナビ 2014」のバナーから「加西市企業特集」をご覧ください。

加西市雇用開発福祉協議会は、昨年 12 月から、日経就職ナビ 2014 のサイトで加西市内の企業情報を掲載しています。

掲載している企業は、新卒（既卒 3 年以内含む）の学生を平成 26 年 4 月に採用予定している企業 20 社です。

問合せ先／加西市雇用開発福祉協議会（加西商工会議所内）☎④ 0416 商工観光課☎④ 8715

12/18 将来は図工の先生に



▲図工の授業で、高見雅博先生が木にドリルで穴を開ける様子を描いた作品。「表情や動きを描くのがたいへんだった」と辻君。

加西市は、芸術で優れた成績を収めた北条小学校の辻翔太君（4 年）に「さわやか市民賞」を贈呈しました。

辻君の作品は、県などが共催する「ものづくり子供絵画展」で、応募作品 606 点の中から最優秀の県知事賞に輝きました。

「こんなにすばらしい賞をもらってうれしい。将来は図工の先生になって絵を描き続けたい」と夢を語ってくれました。

1/8 室町時代から続く「田遊び・鬼会」



▲暴れ回る激しい鬼の動きに、参拝客から歓声が上がりました。

五穀豊穡や無病息災を祈る国の重要無形民俗文化財「田遊び・鬼会」が、上万願寺町の東光寺で行われました。

田遊びでは、黒い面と烏帽子姿の福太郎・福次郎が、豊作を祈り農作業のしぐさを奉納。鬼会では、子どもたちが「鬼こそ鬼よ」とはやし立てる中、赤鬼と青鬼がたいまつを柱に打ち付けたり、矛を突き出したりして暴れ回り災厄を払いました。

1/9 全校生で臨む新春書き初め大会



▲冬休みの練習の成果を発揮しようと、集中して書く児童。

宇仁小学校で、恒例の書き初め大会が行われ、全児童 84 人が日本の伝統文化の大切さを学びました。

1,2 年生は鉛筆、3 年生からは毛筆で、張り詰めた空気の中、心を落ち着けて集中し、黙々と筆を運んで一字一字丁寧に書きました。

書き終えた児童は「体育館が静まり返り緊張した。精神統一して字を書くことができ勉強になった」などと感想を述べました。

12/26 消防団活動の経験が生きる



▲左から藤原署長、濱野さん、荒木さん、中川さん。

加西消防署は、12 月 2 日に西長町で発生した住宅火災で、初期消火活動を行い被害を最小限にとどめたとして、藤原光浩署長が濱野正富さん（西長町）、荒木徳夫さん（西長町）、中川正さん（山下町）に感謝状を贈りました。

3 人は「若い時に消防団に入っていたおかげで、慌てることなく消火栓を使って放水できた。けが人もなく良かった」と振り返りました。

12/27 ボランティアと寄付でトイレが完成



▲新設されたトイレ（屋根瓦のある建物）

昭和 27 年の駅開業以来、北条鉄道 8 駅の中で唯一トイレの無い田原駅でしたが、九会地区の企業の寄付や建設関係事業者の協力により、水洗の洋式トイレと障害者用トイレを新設しました。

北条鉄道の佐伯武彦副社長は「多くの方々の協力のおかげ。地域住民の手で作ることによって、北条鉄道に関心を持っていただき、乗車増につなげていきたい」と話しています。

1/13 大人としての自覚と責任を誓う



▲新成人 519 人の内 426 人（約 82%）が参加。式典後の記念撮影。

加西市の成人式が市民会館で開催され、久しぶりに会う友人たちと旧交を温めました。

新成人を代表して、浦野嵩大さん（北条町北条）が「日本人としての誇りを胸に日々精進していきます」と誓い、その後、思い出のアルバムや恩師のビデオレターなどの上映を楽しみました。

式典会場に掲げた、実行委員作成の「和」をテーマとした看板は、市役所 1 階に展示しています。

1/15 お正月遊びを楽しむ



▲同時に手を伸ばし、白熱した展開。

北条南保育所（園児 43 人）で、ジャンボかるたなどを使った「かるた取り大会」が行われました。

1,2 歳児は「アンパンマン」のキャラクターが描かれたかるたに挑戦し、3 歳児からは「いろはかるた」で取った枚数を競い合いました。

園児は「はい」と元気よく大きな声でかるたを取り、お手付きをした時には「頑張れ」と周りで見ていた園児が応援していました。